

## 令和5年12月定例会市議会市政報告

令和5年第5回釧路市議会12月定例会の開会にあたり、9月定例会市議会以降の市政の概要についてご報告申し上げます。

最初の報告は、「姉妹都市提携60周年記念事業」についてであります。

昭和38年10月4日に鳥取市及び湯沢市と姉妹都市提携を結んでから、本年で60周年を迎えました。

この節目にあたり、8月には、私をはじめ釧路市議会姉妹都市等交流促進議員連盟の皆様とともに鳥取市を訪問したところであり、今回は、10月14日および15日の日程で深澤鳥取市長、佐藤湯沢市長をはじめ、両市の議長及び市議会議員など総勢45名からなる訪問団をお迎えいたしました。

両市訪問団の滞在中には、「釧路大漁どんぱく」での「姉妹都市60周年記念ステージ」にご参加いただき、「鳥取しゃんしゃん鈴の音大使」による傘踊りを披露するなど、両市の紹介を行ったところです。また、中央図書館において開催中でありました「鳥取・湯沢 釧路とのゆかり展」を観覧していただいたほか、鳥取小学校、鳥取神社など市内のゆかりの場所へご案内する中で、改めて両市との歴史的、文化的なつながりを互いに実感することができたものと考えております。

今後、湯沢市へは、来年2月に開催される「犬っこまつり」に併せて訪問を予定しており、先達が道を切り拓いていただいたこの交流の歴史をしっかりと後世にも伝え、末永い友好の関係を築いてまいりたいと考えております。

報告の第2は、「アドベンチャートラベル・ワールドサミット(ATWS)2023の開催結果」についてであります。

去る9月11日から14日までの4日間、アドベンチャートラベルの国際商談会であります「ATWS2023」がアジア地域で初めて札幌市で開催され、64の国と地域から約770名の方が参加されました。

本サミットでは、主催のアドベンチャートラベル・トレード・アソシエーション(ATTA)のアンバサダーに就任している鶴雅リゾートの高田茂氏及び高田<sup>けんすけ</sup>健右氏のほか、オープニングで琴の演奏を披露した橋本みぎわ氏、最終日に、次期開催地であるパナマの観光大臣へ自作の木彫品を寄贈した阿寒アイヌ工芸協同組合の秋辺日出男専務など、釧路の関係者が要所を締める形で成功裏に終了しております。

私も、ATWS北海道実行委員会の副会長として出席し、ATTAのシャノン・ストウエルCEOをはじめとする幹部メンバーと交流を深めてまいりました。

サミット終了後は、9月15日から18日までの日程で、サミット参加者を対象とした体験型見学会「ポストサミットアドベンチャー」が釧路エリアを含む道内4地域で開催さ

れております。

AT業界において影響力のある8名をゲストとしてお迎えし、雌阿寒岳トレッキング、釧路湿原散策などのアクティビティ体験や猛禽類医学研究所の視察などを行っていただき、自然景観の素晴らしさや環境治療の取り組みなどに対して高い評価をいただいた一方、英語での情報発信や公共交通機関の面で今後に向けた改善点のご指摘もいただいたところであります。

今後におきましては、この度のATWS及びポストサミットアドベンチャーの開催を契機として、AT関係者とのネットワークを生かしながら、ATが地域の稼ぐ力として根付くよう、しっかりと取り組みを進めてまいりたいと考えております。

報告の第3は、「台湾及びベトナム訪問」についてであります。

11月12日から18日の日程で、私をはじめ、教育長、畑中議長、釧路市議会日越友好促進議員連盟、その他関係者の方々とともに、台湾及びベトナムを訪問してまいりました。

台湾訪問におきましては、11月13日に、台湾政府関係機関である「交通部観光署」「交通部民用航空局」並びに現地航空会社を訪問し、さらなる誘客を図るため、国際線就航に向けた要請を行ってまいりました。

翌11月14日には、北陽高校の台湾見学旅行における交流相手校であります「私立景文<sup>けいぶん</sup>高級中学」や台北市立動物園との学術交流など<sup>ぶんざん</sup>で親交の深い「台北市文山区」を訪問し、今後のさらなる友好交流の継続も確認してきたところであります。

ベトナム訪問におきましては、ハロン市で開催されましたクアンニン省創立60周年・日越外交関係樹立50周年を記念した「北海道フェスティバル in ハロン」に11月16日から17日まで参加し、会場内の観光ブースにて、釧路の食や観光をはじめとする地域のPRを実施してまいりました。

さらには、北海道とともに、ハノイにある石炭鉱物工業グループ（ビナコミン）を訪問したほか、2020年東京パラリンピックのホストタウンとして、パワーリフティングベトナム代表チームの事前合宿を釧路市で受け入れた経緯から、「ベトナム文化スポーツ観光省スポーツ総局」も訪問してきたところであります。

今回の台湾訪問後の経過といたしまして、今般、チャイナエアラインから、来年1月26日から2月11日まで、釧路・台北間チャーター便、5往復8便の運航を決定したとの連絡をいただいたところであります。

台湾からのチャーター便の運航につきましては、平成27年12月以来約9年ぶり、釧路空港の国際チャーター便の就航は、令和元年7月の韓国の大韓航空以来約5年ぶりとなります。コロナの影響により、一時的に途絶えていた国際線がようやく再開できたところであり、台湾から多くの観光客の方々が釧路市をはじめとする「ひがし北海道」エリアを訪れていただくことは大変喜ばしいことと受け止めております。

今回訪問いたしました私立景文<sup>けいぶん</sup>高級中学の江<sup>じゃん</sup>校長さらには教育行政全般を所管する台北市教育局からもさらなる交流の推進と連携に向けた申し出をいただいたところであり、こちらも今後前向きに検討していくこととしております。

今後におきましても、釧路市と台湾及びベトナムとの友好関係をしっかりと築き上げるとともに、自然や文化、観光など様々な分野での交流を推進し、釧路市への誘客促進につなげていけるよう、取り組みを進めてまいりたいと考えております。

報告の第4は、「工事発注状況」についてであります。

本年度の建設事業の発注予定額は、約431億2千万円となっており、11月30日現在における発注済額は約428億5千万円であり、発注率は、99.4%となっております。

このうち、地元企業への発注は、金額で約247億5千万円、率ではおよそ57.8%となっております。

主な建設事業別の発注率につきましては、道路事業が約80%、上水道事業で約99%、下水道事業で約97%、住宅建設事業は約99%の状況となっております。

以上で、市政報告を終わります。